

小笠原動物対処室におけるアカガシラカラスバトの処置実績（令和6年度）

1. 概要 小笠原動物対処室は、外来種等による被害・影響を受ける野生動物の保護、飼い主のいないネコ対策、ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進拠点
2. 設置者 環境省（小笠原世界遺産センター内の施設）
管理者 おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会（事務局：小笠原村環境課）
※獣医師、愛玩動物看護師の各1名が常駐
3. ハトの処置実績

令和6年11月末までに保護された野生動物144個体のうちハト2個体の治療を実施。また、生態情報の蓄積や傷病原因の判定のため、死亡した4個体（過年度含む）の病理解剖を実施。計6個体に延べ125回対応し、野生復帰1頭（詳細は下表参照）。

表：令和6年度のアカガシラカラスバトの対応実績

保護			保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日		主な内容	期間	回数	
2024	2	3	死亡個体 北袋沢の道路で回収	病理解剖	2024.4/4	1	死因：交通事故による腹部の重度の筋挫傷
2024	3	17	死亡個体 扇浦分譲地入口で回収	病理解剖	2024.4/4	1	死因：交通事故による骨折多発、血管の損傷
2024	4	4	死亡個体 大神山公園で回収	病理解剖	2024.4/5	1	死因：捕食（二次的な食害もあり）
2024	5	27	清瀬分譲地 バードストライク	レントゲン検査、	2024.5/29	1	2024.6/3 野生復帰
2024	6	2	北袋沢の農園 ネット絡まり 頸部背側に広範囲重度の皮膚損傷・筋損傷	消毒、外用薬塗布、注射、皮下点滴、ICU入院、強制給餌、リハビリ、病理解剖	2024.6/2~8/3	120	2024.8/3 死亡 国環研に検体を送付
2024	9	18	奥村にて瀕死で保護 捕食による頸部骨折、裂傷	ICU入院（10～15時） （安楽殺の判断中に死亡）	2024.9/18	1	2024.9/18 死亡 国環研に検体を送付

【その他の診療実績の推移】

表：野生動物の対応実績一覧（平成 29 年度から令和 5 年度）

野生動物	治療個体 ／保護された負傷個体	その他の※ 治療・処置個体	合計数（治療延べ回数）	野生復帰個体
平成 29 年度	27／104 個体	4 個体	31 個体（約 260 回）	3 個体
平成 30 年度	20／101 個体	4 個体	24 個体（194 回）	6 個体
令和元年度	12／139 個体	5 個体	17 個体（406 回） （うち飼育個体 191 回）	10 個体
令和 2 年度	15／107 個体	0 個体	15 個体（314 回）	11 個体
令和 3 年度	11／80 個体	0 個体	11 個体（212 回）	7 個体
令和 4 年度	6／170 個体	1 個体	7 個体（383 回） （ハト入院 281 日（回）含む）	4 個体
令和 5 年度	28／135 個体	18 個体	46 個体（230 回）	23 個体

※R4 までは飼育個体（オオコウモリのみ）。R5 は飼育個体 5 個体と死亡個体 13 個体。

・同室を運営する動物協議会では、「野生動物の治療費は協議会で当面負担するが、環境省等での整理を求める」と課題を整理している。

- ・山域で捕獲されたネコの負傷・衰弱・疾患個体や妊娠中の個体について、必要に応じて治療・処置
- ・イヌ、ネコ、モルモット、ハリネズミなどのペット約 500 件／年の診療と同時に、適正飼養も指導

参考：ハトの対応実績（平成 29 年度から令和 5 年度）

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
平成 29 年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 3 頭、海鳥類 11 羽(コアホウドリ、シロハラミズナギドリ 2 羽、オガサワラミズナギドリ、カツオドリ 2 羽、コグンカンドリ、ハワイセグロミズナギドリ、アナドリ 2 羽、オナガミズナギドリ、シラオネツタイチョウ)、その他の鳥類 10 羽を治療								
2017	8	22	アカガシラ カラスバト	大根山汚水 処理場の沈殿槽に 落下	スワブ検査、皮膚検査、 保温、皮下点滴・注射、 外部寄生虫駆除	2017.8.22	1	2017.8/23 死亡
2018	1	31	アカガシラ カラスバト	清瀬(若鳥)	糞便検査、強制給餌、 皮下点滴・注射、内服薬	2018.1/31~2/9	10	2018.2/19 野生復帰
平成 30 年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 9 頭、オガサワラノスリ、オーストンウミツバメ、カツオドリ、アナドリ 2 羽、メダイチドリ、トラツグミを治療								
2018	6	27	アカガシラ カラスバト	小学校の 窓ガラスに衝突	死亡確認	2018.6/27	1	2018.6/27 死亡
2018	8	8	アカガシラ カラスバト	テグス絡まり	皮下点滴・注射	2018.8/8~9	2	2018.8/9 死亡
2019	1	4	アカガシラ カラスバト	西町で人工物衝突	皮下点滴・注射、 強制給餌	2018.1/5	2	2019.1/6 死亡
2019	3	16	アカガシラ カラスバト	長谷トンネル 交通事故	皮下点滴・注射、 強制給餌、ICU(入院、 保温)	2019.3/16~26	17	2019.3/26 多摩動物 公園へ搬送
2019	3	24	アカガシラ カラスバト	宮之浜道で 電線衝突	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 ICU(入院、保温)、包帯	2019.3/24~26	5	2019.3/26 上野動物園へ搬 送
令和元年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 6 頭、オガサワラノスリ、アカオネツタイチョウ、オナガミズナギドリ、メジロを治療								
2019	7	4	アカガシラ カラスバト	奥村 ガラス扉内 迷い込み	糞便検査、強制給餌、 皮下点滴・注射、内服薬	2019.7/4~25	21	2019.7/27 野生復帰

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2019	7	21	アカガシラ カラスバト	大神山公園 ガラス衝突	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 糞便検査	2019.7/21~26	6	2019.7/27 野生復帰
令和2年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 11 頭、オガサワラノスリ、アカオネツタイチョウを治療								
2020	4	14	アカガシラ カラスバト	大神山公園 うずくまり	皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)、 糞便検査、翼洗浄・消毒	2020.4/14~19	12	2020.4/19 多摩動物 公園へ搬送
2021	1	4	アカガシラ カラスバト	旭平 うずくまり	レントゲン検査、 皮下点滴・注射、 強制給餌、包帯法、 ICU(入院・保温)	2021.1/4~10	12	2021.1/10 上野動物園へ搬 送 (1/14 死亡)
令和3年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 10 頭、オガサワラノスリ、カツオドリ 2 羽を治療								
2021	4	14	アカガシラ カラスバト	父島長谷橋 うずくまり	レントゲン検査、 洗浄・消毒、皮下注射	2021.4/19~20	2	2021.4/20 多摩動物 公園に搬送
2021	4	19	アカガシラ カラスバト	父島長谷トンネル うずくまり	レントゲン検査、 洗浄・消毒、 皮下点滴・注射	2021.4/19~20	2	2021.4/20 多摩動物 公園に搬送
2021	8	19	アカガシラ カラスバト	バス営業所 バードストライク	レントゲン検査 皮下点滴・注射、 ICU(入院・保温)	2021.8/19~20	2	2021.8/20 放鳥
2021	11	11	アカガシラ カラスバト	宮之浜 バードストライク	皮下注射、ICU、 レントゲン検査(死亡後)、	2021.11/11	1	2021.11/11 死亡
2022	3	4	アカガシラ カラスバト	母島 村民会館 バードストライク	皮下注射、 MRSA 検査→陰性、 レントゲン検査	2022.3/7	1	2022.3/9 野生復帰 (母島)
令和4年度 下記の他、オガサワラオオコウモリ 3 頭の治療指示								
2022	5	30	アカガシラ カラスバト	屏風谷トンネル 歩行(幼獣)	入院、ICU、糞便検査、 皮下点滴・注射、投薬、 MRSA 検査→陰性	2022.5/30~ 6/2	4	2022.6/2 野生復帰
2022	6	30	アカガシラ カラスバト	扇浦 うずくまり 右癒合鎖骨 骨折	入院、ICU、糞便検査、 レントゲン検査、皮下点 滴・ 注射、MRSA 検査→陰性	2022.7/1~21	42	2022.7/21 上野動物園へ 搬送
令和5年度 (獣医師交代) 下記の他、オガサワラオオコウモリ 12 頭、オガサワラカワラヒワ(飼育個体)2 羽、 オガサワラノスリ、オナガミズナギドリ、シロハラミズナギドリ、アナドリ 4 羽、アカオネツタイチョウ、カツオドリ、 ムナグロ、ヒシクイを治療・処置(死亡個体の解剖含む)								
2022	6	24	アカガシラ カラスバト	奥村 うずくまり 尾羽無し	入院、ICU、糞便検査、 皮下点滴・注射、 MRSA 検査→陽性→陰転	2022.6/24~ 7/23~3/31 (入院のみ)	302	2023.4/29 安楽殺
					入院	2023.4/1~29	29	
2023	4	7	アカガシラ カラスバト	八瀬川 片翼たれていた	洗浄・消毒、皮下点滴・ 注射、MRSA 検査→陰性	2023.4/7~11	6	2023.4/12 上野動物園へ 搬送 →手術中に死亡
2023	4	7	アカガシラ カラスバト	小学校入口 バードストライク	皮下点滴、 MRSA 検査→陰性	2023.4/7~11	4	2023.4/12 上野動物園へ 搬送

保護			種	保護状況	動物対処室等の対応状況			結果
年	月	日			主な内容	期間	回数	
2023	9	17	アカガシラ カラスバト	奥村グラウンド 道沿いうずくまり	血液検査、レントゲン検査、皮下点滴・注射、外用薬	2023.9/18~24	7	2023.9/24 多摩動物 公園に搬送
2023	9	27	アカガシラ カラスバト	死亡個体 高校グラウンドで 回収	レントゲン検査、病理解剖	2023.9/27	1	死因：斃死
2023	10	22	アカガシラ カラスバト	死亡個体 奥村グラウンドで 回収(交通事故)	病理解剖	2023.10/27	1	死因：斃死
2023	10	28	アカガシラ カラスバト	西町 建物奥でうずくまり	レントゲン検査、皮下点滴・注射、外用薬	2023.10/29~ 12/14	22	2023.12/14 野生復帰
2023	11	23	アカガシラ カラスバト	死亡個体 大根山道路で回収 (交通事故)	病理解剖	2023.12/12	1	死因：斃死
2023	11	29	アカガシラ カラスバト	死亡個体 湾岸道路で回収 (交通事故)	病理解剖	2023.12/13	1	死因：斃死
2023	12	2	アカガシラ カラスバト	死亡個体 咸臨丸墓地で回収 (交通事故)	病理解剖	2023.12/15	1	死因：斃死
2023	12	18	アカガシラ カラスバト	死亡個体 西町建物前で回収 (交通事故)	病理解剖	2023.12/27	1	死因：斃死
2024	1	22	アカガシラ カラスバト	死亡個体 奥村建物前で回収 (バードストライク)	病理解剖	2024.1/22	1	死因：斃死
2024	2	21	アカガシラ カラスバト	死亡個体 扇浦建物前で回収 (バードストライク)	病理解剖	2024.2/21	1	死因：斃死

※過去には無対応であったアカガシラカラスバトの死亡個体に対し、令和5年度からは、対処室による積極的な剖検の実施によって、交通事故、バードストライク等の死因が解明され、事故予防や危険周知につながっている。

参考：動物対処室の事業別作業量（平成 29 年度から令和 5 年度）

事業名	(1)野生動物の保護	(2)飼い主のいないネコ対策	(3)ペットの適正飼養の推進
平成 29 年度			
診療個体数	31個体	22個体	77頭
診療延べ回数	約260回	約190回	666回
割合	23. 3%	17%	59. 7%
平均診療回数	8. 4回/個体	8. 6回/個体	8. 6回/頭
最大診療回数	86回/個体(飼育個体)	146回/個体(糖尿病個体)	42回/頭
平成 30 年度			
診療個体数	24個体	53個体	76頭
診療延べ回数	194回	314回	634回
平均診療回数	8. 1回/個体	5. 9回/個体	8. 3回/頭
最大診療回数	57回/個体	73回/個体	42回/頭
診療費合計※	1, 712, 400円	2, 505, 241円	6, 452, 890円
割合	16. 0%	23. 5%	60. 5%
令和元年度			
診療個体数	17個体(うち飼育個体5個体)	42個体	72頭
診療延べ回数	406回(うち飼育個体191回)	114回	716回
平均診療回数	23. 9回/個体	2. 7回/個体	9. 9回/頭
最大診療回数	81回/個体(飼育個体)	17回/個体	52回/頭
診療費合計※	3, 013, 794円	988, 999円	8, 190, 754円
割合	24. 7%	8. 1%	67. 2%
令和 2 年度			
診療個体数	15個体	67個体	109個体
診療延べ回数	314回	320回	671回
平均診療回数	20. 1回/個体	4. 8回/個体	6. 2回/頭
最大診療回数	56回/個体	52回/個体	38回/個体
診療費合計※	2, 617, 978円	3, 619, 737円	7, 128, 273円
(割合)	19. 6%	27. 1%	53. 3%
令和 3 年度			
診療個体数	14個体	18個体	113個体
診療延べ回数	215回	41回	701回
平均診療回数	15. 4回/個体	2. 3回/個体	6. 2回/頭
最大診療回数	56回/個体	6回/個体	34回/個体
診療費合計※	1, 463, 627円	297, 275円	7, 187, 195円
(割合)	16. 4%	3. 3%	80. 3%
令和 4 年度			
診療個体数	7個体	26個体	106個体
診療延べ回数	383回(ハト入院含む)	35回	603回
平均診療回数	54. 7回/個体	1. 3回/個体	5. 7回/頭
最大診療回数	302回/個体(入院個体)	5回/個体	30回/個体
診療費合計	1, 601, 171円	250, 283円	6, 759, 512円
(割合)	18. 6%	2. 9%	78. 5%
令和 5 年度			
診療個体数	46個体	42個体	106個体
診療延べ回数	230回	222回	570回
平均診療回数	5回/個体	5. 3回/個体	5. 4回/個体
最大診療回数	26回/個体(コウモリ) ハト入院個体除く	25回/個体(入院個体)	61回/個体(ネコ)
診療費合計	1, 994, 036円	1, 410, 585円	5, 132, 838円
(割合)	23. 4%	16. 5%	60. 1%

※平成 30 年度からは飼い主価格（1、2 の診療費は作業量の目安）をもとに作業量を比較。